

あふれる文化と産業のまち

一人あたりに使うお金は 23万1,803円

一人当たりの市税負担額は 13万6,762円

歳 出

項目	金額	使 い 道
土木費	148億7,803万9,000円	道路や河川の整備に
教育費	98億2,684万7,000円	学校整備や社会教育などに
衛生費	58億5,976万6,000円	ごみ処理や病気の予防に
民生費	58億3,060万円	社会福祉などに
総務費	40億4,422万8,000円	庁舎管理や人件費などに
公債費	37億6,085万8,000円	借りたお金を返すために
消防費	16億3,037万7,000円	消防、水防、防災のために
労働費	13億4,570万1,000円	働く人たちのために
農林水産業費	13億4,435万7,000円	農業や水産業のために
商工費	12億3,734万8,000円	商業や工業発展のために
その他	5億4,187万9,000円	議会費、災害復旧費など
合 計	503億円	

厳しい中で

積極的に予算化

昭和六十一年度予算は、一般会計が五百三億円、企業会計を含む特別会計が二百九十億二千二百二十二万二千元。総額七百九十三億二

私たちが納めた税金はどのように使われているのでしょうか。市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年六月と十二月の二回、「富士市の財政」を公表しています。今回は、昭和六十一年度予算と昭和六十年度の財政状況をお知らせします。

千二百二十二万二千元です。六十年当初予算と比較すると、一般会計が二十四億六千万円増の五・一%の伸びを示し、企業会計を含む特別会計は二十九億五千二百五十八万六千円増の十一・三%の伸びとなりました。歳入面では、自主財源の根幹を

なす市税収入が前年度対比九・三%、金額にして二十五億三千二百四十七万円の増加となりました。国・県支出金、市債等の依存財源については、昨年に続く国庫補助負担率の引き下げ、市債等の減少などの影響があらわれた厳しい財政構造となっています。歳出については、第二年次を迎える新幹線富士駅設置事業を初め、斎場の建設、都市計画事業、公共下水道事業の推進、道路、河川、公園の整備、福祉の充実、産業経済の振興等、第三次総合計画に掲げる諸事業を積極的に計上しました。

財政用語を

おしえてください



佐野祐介君
(鷹岡中2年)

◇歳入

会計年度内(四月一日)翌年三月三十一日)に入ってくるお金。

◇歳出

会計年度内に支出するお金。

◇一般会計

市税収入を主な財源として、福祉・教育・道路・公園・消防などに使われる会計。

◇特別会計

市が特定の事業を行う場合、一般会計とは別に収入支出を経理する会計。

◇企業会計

民間企業と同じように独立採算を原則とする事業について設けられた会計。

◇市債

市の借金を市債といいますが、道路や学校をつくるには、多くのお金が必要になり、市税や補助金だけでは賸えません。そこで、国や銀行からお金を借ります。

はしな



昭和61年度予算と60年度の財政状況

富士山を
シンボルに

みどり



△新幹線新駅の予想図



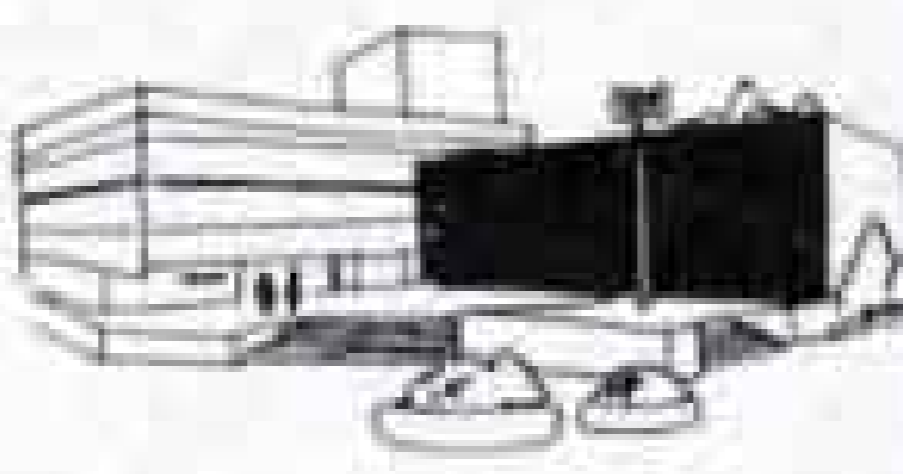
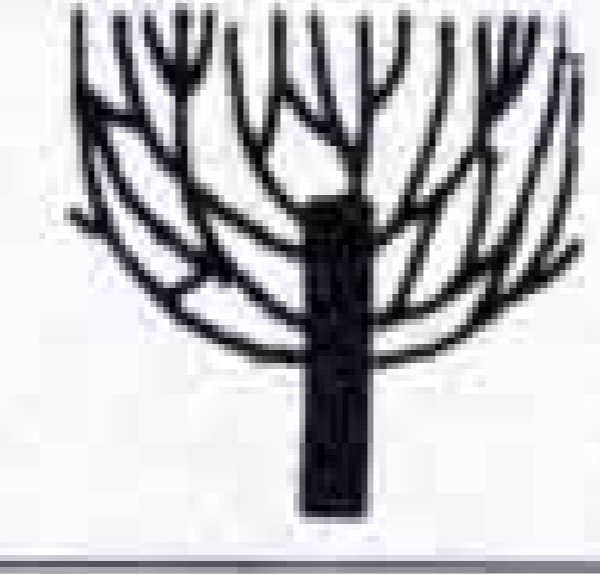

61年度
一般会計

総額503億円

歳入

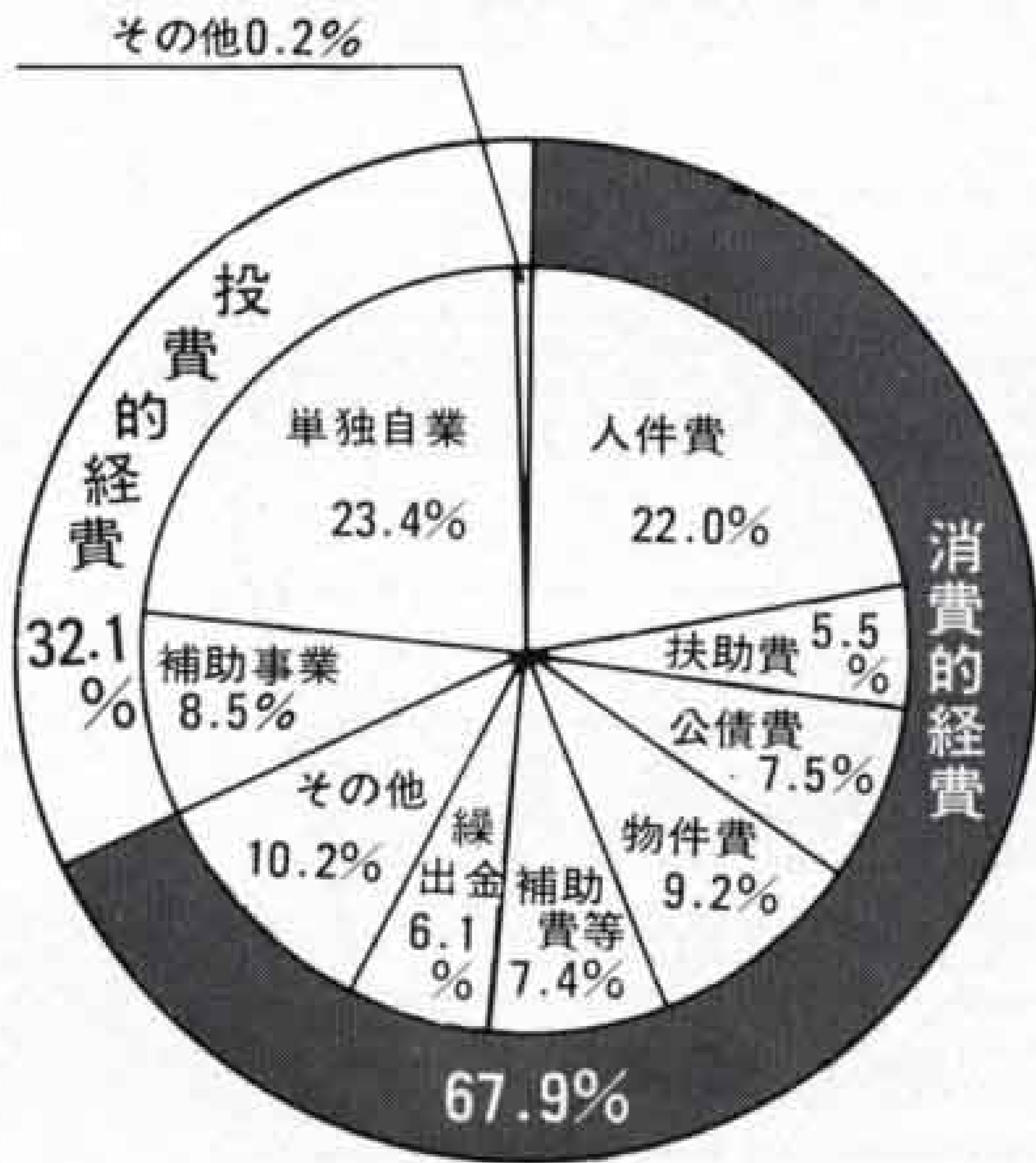
項目	金額	構成比
市税	296億7,647万円	59.0%
市債	44億3,060万円	8.8%
繰入金	31億2,302万円	6.2%
諸収入	29億7,630万4,000円	5.9%
国庫支出金	27億7,429万円	5.5%
県支出金	17億3,915万3,000円	3.5%
分担金及び負担金	14億8,480万4,000円	3.0%
その他	40億9,535万9,000円	8.1%
合計	503億円	100%

市有財産の状況

 有価証券 1,688万円	 土地 4,919万 5,445平方メートル
 建物 53万 6,650平方メートル	 立木 22万9,794 立方メートル
 車両 258台	基金の現在高 50億2,247万9,290円

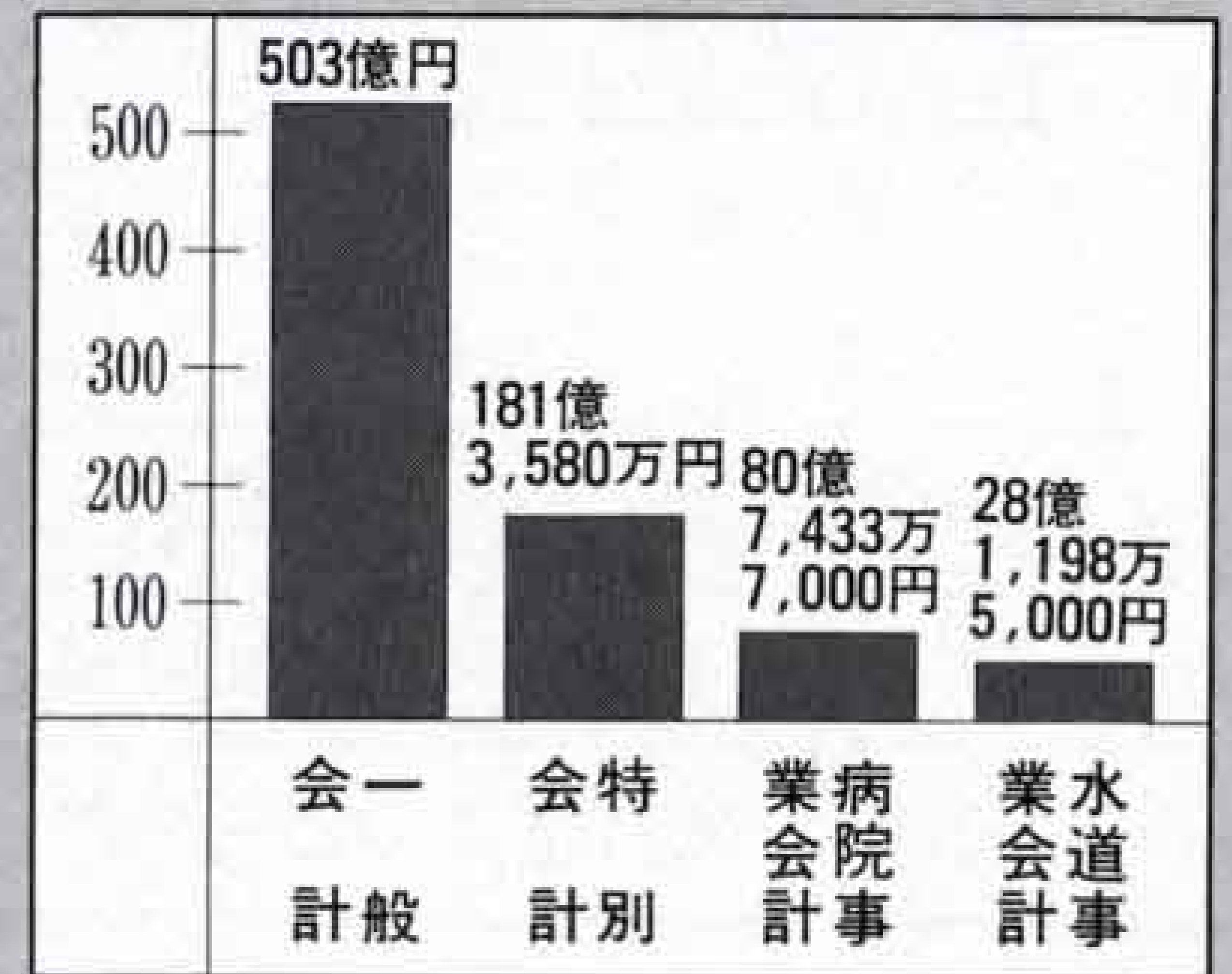
(昭和61年3月31日現在)

性質別歳出



会計別 予算

= 総額 =
793億
2,212万
2,000円



市債の未償還額	
大蔵省	80億5,634万2,000円
郵政省	90億1,998万7,000円
金融公庫	40億 921万2,000円
市中銀行	27億1,434万3,000円
共済組合	10億6,218万4,000円
その他	13億1,994万9,000円
合計	261億8,201万7,000円

はたは

一万円札を
五百三億円分
積み上げると...

〇〇。

高橋信宏君
(元吉原小4年)

これは、市役所(十階建)十五個分の高さになります。

一万円札を五百三億円分積み上げると約六百メートルぐらいの高さになります。

1、富士山のように 美しく 自然を愛し きれいな環境をつくります

昭和60年度の予算及び執行状況

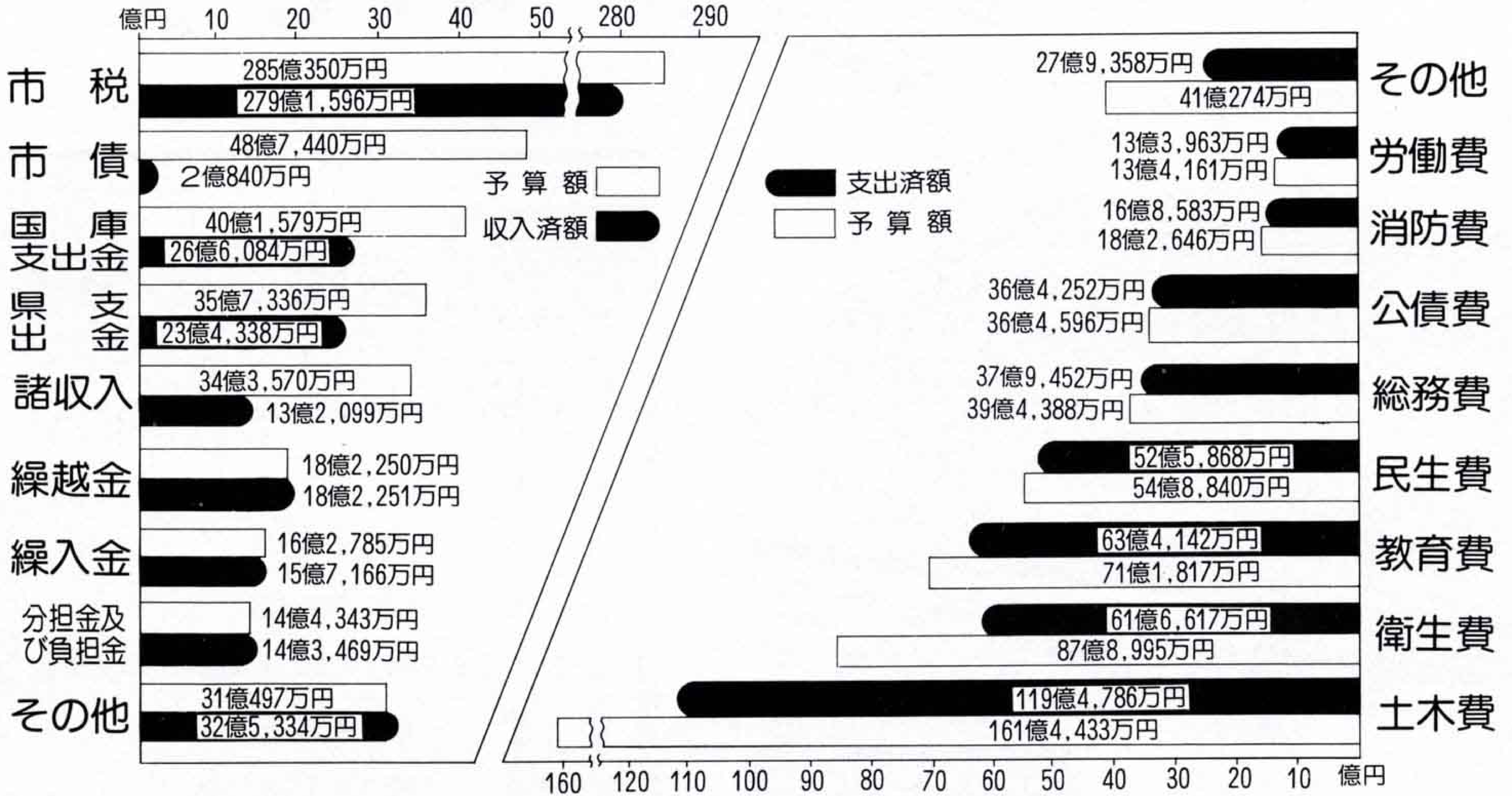
一 般 会 計

歳入

予算総額 524億 150万円
 収入済総額 425億3,177万円
 (61年 3月31日現在)

歳出

予算総額 524億 150万円
 支出済総額 429億7,021万円
 (61年 3月31日現在)



特別会計	依田原新田区画整理会計		駐車場会計	
	予算額	5,162万円	予算額	5,470万円
支出済額	3,784万円	支出済額	3,467万円	
国保会計	富士中部区画整理会計		公共用地先行取得会計	
	予算額	11億9,000万円	予算額	1億2,150万円
支出済額	9億2,755万円	支出済額	1億2,144万円	
下水道会計	地方卸売市場会計		老人保健会計	
	予算額	3億8,200万円	予算額	41億4,630万円
支出済額	3億6,785万円	支出済額	37億9,097万円	

昭和60年度 企業会計の決算状況

◇病院事業



収入合計 71億6,552万1,000円
 医業収益 58億6,612万4,000円
 医業外収益 12億6,130万2,000円
 特別利益 3,809万5,000円
 支出合計 69億8,828万8,000円
 医業費用 62億6,729万円
 医業外費用 7億2,099万8,000円
 純利益 1億7,723万3,000円

◇水道事業



収入合計 23億9,621万9,000円
 営業収益 22億2,469万5,000円
 営業外収益 1億6,618万5,000円
 特別利益 533万9,000円
 支出合計 20億7,290万1,000円
 営業費用 16億5,235万円
 営業外費用 4億2,055万1,000円
 純利益 3億2,331万8,000円